

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和7年12月18日(木)
第27号

◆じっしゅうほうこくかい ◆実習報告会◆

12月10日(水)に、1, 2年生の実習報告会を行いました。実習の様子をスライドに映し、生徒自身が成果と課題を中心に発表しました。1年生の生徒からは、「職場の方とコミュニケーションをとることができ、作業効率を上げることができました。」「頼まれた仕事を正確に時間を意識してやり遂げることができました。」「上司の方と協力し、最後まで実習をすることができました。」などの報告がありました。2年生からは、「仕事内容をメモし、メモを見返しながら仕事をすることができました。」「分からない時は、自分から質問しながら、作業をすることができました。」「上司が不在の時でも、自分で考えて仕事を行うことができました。」などが成果として報告されました。また、生徒の実習ノートを見ると、実習先の方から、「自ら進んで商品出しをするなど、積極的に動いています。」「初めのころより要領もよくなってきてスピードも速くなりとても助かっています。」というコメントがありました。一方で、「集中力が足りません。」「仕事をする上で、挨拶や報告の声が小さいです。」「メモを取って活用するようにしましょう。」という課題もいただきました。課題となったところは、家庭生活や学校生活の中で改善し、自立した社会人を目指せるよう、頑張ります。



家庭からの連絡より

「実習に行きだして会話が增え、自分から次の日の準備をするようになってきました。」と、真剣に実習に臨んでいる生徒の姿を教えてくださいました。

進路から保護者の方へ

企業就労は、任された仕事を一人でこなすことが前提です。実習も同様です。まず家の仕事が一人でできるように、自分の身の回りのことは一人でできるようにすることが大切です。

今後に向けて進路から

体調管理をして、体力をつけよう

- ・自分の体調を知る
- ・2週間、働きつづけることができる体力をつける

思いきって仕事に取り組もう

- ・思っていた仕事とは違うことをするとき
- ・思いきって取り組む
- ・真剣に取り組む

次の実習に向けて

- ・成果は伸ばしていく
- ・課題は次の実習までに克服する

今後に向けて

- ・1年生は仕事に必要な力を考える
- ・2年生は一社会人として取り組む
- また、卒業後の生活を考える

家で手伝いをしている人は「仕事ができている」

家庭で自主的に家事をしている生徒は、「①仕事の順番が分かる ②物の置き場所が分かり、使った物をもとの場所に戻す ③仕事のスピードが速い」など就労に結びつく力がついています。普段から家の仕事を積極的にするように心がけましょう。